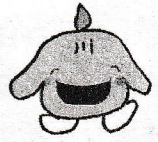




横浜市立川和中学校 学校だより

川 和



創立 30 周年記念キャラクター
kawawan

「川和の菊」として有名であった若菊の二枚重ね
学習等に励み、立派な人になる願いを込めて

1980 年(昭和 55 年創立)

12月号 令和7年12月23日発行

輝く新年のために

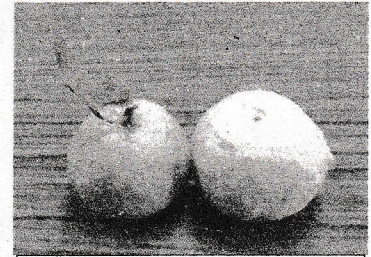
校長 高部 振司

乃東生 (なつかれくさ しょうず)

12月22日は冬至。まだまだ寒い日が続きますが、新年に向けて一つの節目の日となります。

この日は、柚湯を使い、寒さで縮こまった身体を温めて。

25日の終業式を過ぎると冬休み。今年度は12日間のお休み。新しい年を迎える準備しつつ、じっくり充電しましょう。



町でも見かける光輝く
柚ふたつ。写真からも香りが
立ち上ってきそうです。

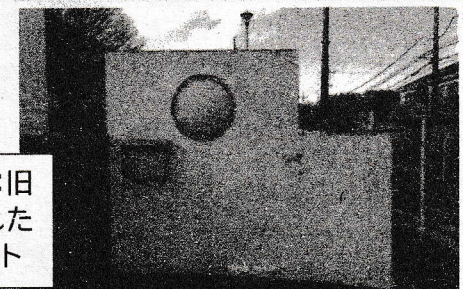
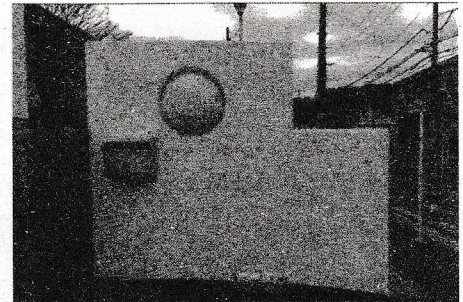
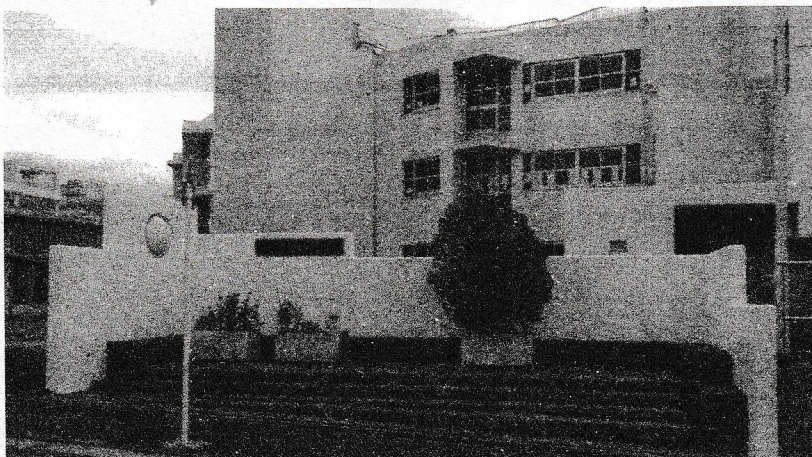
12月6日(土)にはPTAと本校親児の会、そして在校生も協力して校内美化活動が行われました。今年は通用門(車道に面した門。緑道側が正門。)を中心にペンキの塗りなおしを協力し、手際よく行ってもらいました。

ていねいな作業により、晴れた日には、いちだんとまばゆく輝く門となりました。また、川和中学校のプレートの文字も磨きをかけてもらいました。

土曜日にもかかわらず、川和中学校のため、生徒のために尽力してくれたみなさんのおかげです。ここでも新しい年を迎える準備ができました。感謝申し上げます。

今年も地域の方々には、地域行事や学家地連事業などで大変お世話になりました。保護者の皆様、本校へのご協力とご理解をありがとうございました。生徒のみなさんは、仲間や同級生を思い、自身のためだけでなく努力を重ねてくれました。

来たる年も皆様にとって、素晴らしい一年となりますようお願い、今年一年のごあいさつとさせていただきます。



横浜市立川和中学校

右上:新/右下:旧
左:磨きを入れた
校名プレート

★人権講演会「被爆体験記朗読会」

11月20日(木)に、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館のある広島から、被爆体験記ボランティアの笠間雅一さんと竹廣美和さんが来校されました。広島県に落とされた原子爆弾の映像から被爆の実相や体験した方々が書いた詩を朗読していただきました。中には生徒の朗読体験もありました。詩を見て、聞いて、声に出して読むことで、体験された方々の心情や当時の様子、その後の生き方を想像することができました。誰もみんなが真剣に聞き入っていて、感想には自分ごととしてとらえ、平和の大切さを実感していることが表現されていました。

・僕は親戚の家が、広島、長崎にともにあり、平和記念公園、どちらも行ったことがあります。その時も感じましたが、(核兵器は)やはりあってはならない存在である、と毎度実感しております。ただこれだけではなく、被爆した方々の話を聞くことが大事になってくると考えます。やはり戦後80年たった今、実体験を受けた方の意見が聞きづらくなり、そんな私たち若者がやるべき行動は、言伝、伝承していくことです。これからは自分も伝承していこうと考えました。
(2年4組 渡辺 虹)

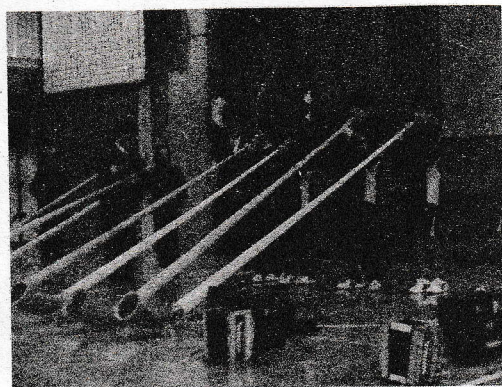
・動画を見ると原爆の恐ろしさがわかりました。見苦しいと感じてしまうほどの傷がたくさん残っていて、怖くなりました。「げんしばくだん」を読むと、短いけど原爆の恐ろしさが一言一言に詰め込まれているように感じました。特に、「無題(香川征雄)」の最後の「だいきらいだ」に怒りや悲しみ、どうしようもない気持ちが混ざり合っているように感じました。その一行が一番心に残りました。これから原爆の恐ろしさをかみしめて生きていくためにも、今日のことを両親や家族に伝えたいと思いました。
(2年1組 國枝 碧衣)

・今までの私達には想像がつかなかった当時の人々の状態。それを見て、聞いて、私達には理解しきれないほど残酷だったと、改めて思いました。一瞬にして多くの命を奪った原爆、少しずつ人をむしばんでいた原爆、被爆者の心に深い傷を残した原爆。私が知らないことがたくさんあり、少し情けなく感じ、今日は多くの衝撃を受けました。今日知ったこと、感じたこと、これはとても大切なもので、平和を願う気持ち、人に伝えていくことの大切さに向き合い「私には何ができるかな」と考えるきっかけになりました。この講演会を聞いて良かったと、心の底から思いました。
(3年6組 長嶋 夏海)

★1年職業講話

11月27日(木)に1年生のキャリア学習として、職業講話が行われました。講師として呼び出したのは、特定非営利活動法人玉川アルプホルンクラブの代表をされている横井様と、弘明寺商店街でPEACH COFFEEを経営されている百崎様、執筆活動をされている橋本様、コミュニティビルダーをされているダバンデス様です。午前中は横井様をはじめ玉川アルプホルンクラブの皆様から仕事に就くことになったきっかけ、仕事の魅力をお話ししていただいた後、演奏を聴かせていただいたり楽器体験をさせていただいたりしました。生徒たちは初めて見る楽器に興味津々で、楽しそうに演奏を聞いていました。午後は弘明寺商店街の皆様から、それぞれの仕事の内容ややりがいなどを

生徒の質問を織り交ぜながらご講話いただきました。「働くとはあなたにとって何ですか?」という問いかけがあり、生徒たちは講話を聴きながら「働くこと」について一生懸命考える機会になりました。



★グラウンドゴルフ

12月7日(日)に都田公園で本校の学校・家庭・地域連携事業、体育活動部主催の「第23回ふれあいスポーツデー グラウンドゴルフ大会」が開催されました。今年は本校陸上競技部男女・ソフトテニス部男女の計4チームが参加しました。お天気に恵まれ、思いの外暖かく、グラウンドゴルフだけでなく、モルックやゲームにも挑戦し、スポーツに親しみ、楽しむ様子が見られました。



★チューリップの植え付けを行いました

12月12日(金)にPTAボランティア グリーンキーパーズと美化委員の1、2年生が合同で、チューリップの球根の植え付けを行いました。まだまだ続く寒い冬を乗り越えて、4月に川和中学が新入生を迎えるころ、色とりどりに花壇を彩るのが、今からとても楽しみです。



★佐江戸加賀原三世代交流会

12月14日(日)に三角公園で佐江戸加賀原三世代交流会が開催されました。本校の美化委員と剣道部員が当日のお手伝いにボランティア参加しました。小雨降るこの冬一番の寒さの中でも、元気に楽しそうに交流や活動を行いました。参加した生徒の感想をご紹介します。



「三世代交流会では、地域の方と協力し、世代を超えて楽しく交流することができます。私は先日行われた三世代交流会に参加させていただきました。世代の違う方との交流の大切さを学んだり、お手伝いをしたりすることを通して達成感や喜びを得ることができるため、私にとって貴重な時間となりました。」

(3年6組 集治 詩央里)



★個別支援級3区中学校個別支援学級合同作品展に出展

12月11日(木)から17日(水)まで都筑区役所1階区民ホールにて第17回3区中学校個別支援学級合同作品展が開催されました。この展示会は都筑区・港北区・青葉区の3つの区の中学校が参加して、「個別

支援学級在籍生徒の作品展示をすることにより、生徒に自信と達成感を持たせる」という目的で毎年行われています。今回川和中学校では、お面、ストリングアート、毛糸アート、ランタンを作成しました。毛糸アートでは、果物の形を見て、その形と色を表現しました。どの作品も色鮮やかに個性あふれる作品に仕上げることができました。

